

新サフリ族が かかりやすい病気の 症状と予防・治療法

30代以上の既婚男性の約30%は満足なセックスができないことが多く、勃起障害（ED）を自覚しているといわれる。悩みが悩みだけにだれにも相談できずにいる人が多いが、専門医を受診してきちんと治療を受ければ治る確率が高い。

勃起障害

勃起障害（挿入前になってしまふ）

医学的には、勃起障害（最も多い訴えは、勃起とは満足なセックスをするための十分な勃起が得られない）

なえてしまったケースです。マスターべーションのときは勃起しても、セックスとなると挿入前になえると「訴える患者さんもいます」（埼玉社会保険病院泌尿器科・石井泰憲部長）

基本的にパートナーに

対して「性欲があるのに」という前提に立つてのことだが、勃起障害の自覚は個人差が大きい。勃起が数回に1回しか起こらない人も含める。

治療の第一選択は、バイアグラの服用だ。勃起は陰茎海綿体の血管に血液が充満し、陰茎が膨張して硬くなつた状態。バイアグラは陰茎海綿体の平滑筋をゆるませて血流を増やし、勃起



注射や勃起 補助具も

る酵素の働きを抑える。

「狭心症や心筋梗塞など

の循環器の病気がない限り、使います。セックスの約1時間前に、25mlの50mgの錠剤を服用します。患者さんの8割の人が有効で満足と答えていました」（石井部長）

勃起補助具の使用、シリコーンの挿入手術などがあり、患者の希望により処置する。

予防法 血症に注意

加齢による勃起力の減少は避けられないが、普段の生活の中で勃起障害の危険因子を除去する努力をする。

「糖尿病、高血圧、高脂血症などは、陰茎海綿体の血流や神経の働きに支障をきたす原因になります。これらの病気にならぬようになります。患者さんの8割の人が有効で満足と答えていました」（石井部長）

バイアグラが無効な場合は、陰茎海綿体への血管拡張剤の注射、吸引式

バイアグラは患者の8割に有効